

2023年6月3日 EDGE-PRIME Initiative キックオフイベント

氏名：小牧瞳

広く授業・教育

研究

アントレ教育・起業

人生のテーマ：子どもたちが幸せに生きていける
ように様々な形で教育に貢献する



①大学職員：起業家教育のための教材開発チーム取りまとめ、
アントレプレナーシップを育成するための授業デザインを研究

(千葉大学学術研究・イノベーション推進機構 (IMO) アシスタント・リサーチ・アドミニストレーター)



CHIBA
UNIVERSITY



学術研究・イノベーション推進機構
ACADEMIC RESEARCH & INNOVATION MANAGEMENT ORGANIZATION

アントレ
教育



②大学生/院生：
起業家教育教材「ひな社長の挑戦」
産官学連携「西千葉こども起業塾」

(NPO法人起業教育研究会にて「ひな社長の挑戦」開発リーダー、西千葉こども起業塾・放課後コース塾長)

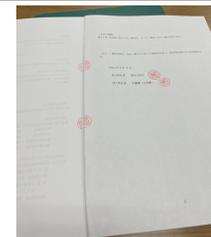
アントレ教育



③起業：教育プログラム開発・
高校生と共に進める拠点づくり

(一般社団法人Spice 代表理事)

自身が起業



④大学院生(現在)：**エージェンシー**を發揮させる授業デザインの研究

(千葉大学大学院人文公共学府博士後期課程 藤川研究室所属)



⑤中学校教師：④の研究を毎日の授業で実施

(千葉県内 中学校非常勤講師数学科)

⑥大学生向けの科目「教育方法・技術」担当

(千葉大学教育学部 非常勤講師)



上記のような取り組みを通してアントレプレナーシップ教育について考えていること



- ・ **実社会に即した教材**づくり・プログラムデザイン（子供扱いしない）が必要。
- ・ 誰かの**働きかけ (agency)**がまた他の人の行動（action）に繋がり自分に戻ってくるなど，相互作用を通じてアントレプレナーシップが育成されるものとする。
- ・ **こどものやりたいを全力で支援する仕組み**を大人がつくる。その仕組みを共有。
- ・ うまくいかないことやリスクが生じそうなことについて有耶無耶にせず**正直に話す**
- ・ 最終的に**どんな社会を目指したいのか**こどもと大人，みんなで議論し続ける。
- ・ コンソーシアムにおいて具体的に**こどもはどのような学習活動をするのか**（何を考え，どんな行動をするのか），プログラム運営側はどのように意味づけていくのか。
- ・ 起業家教育を学校教育でも進めるにあたり，教員以外の大人がどのような仕組みで持続する仕組みにするのか。